

令和4年度

# 施政方針、教育行政運営方針、当初予算

市議会2月定例会において、村越市長が施政方針、田中教育長が教育行政運営方針をそれぞれ述べました。 図 712-8591企画課、383-9224教育総務課

## 施政方針

- 市民の生命と財産を守る
- 人と人とのつながりを取り戻す
- まちの魅力を高める

施政方針全文



今後、新型コロナウイルスがどのような状況になっても、これまでの堅実な財政運営を基盤として、誰ひとり取り残さない多様性が尊重され、安全に安心して暮らせる持続可能なまちづくりを行うことで、将来にわたって成長を続け、市民のみなさんに選ばれ、住み続けていただけるまちを目指します。

### 真の豊かさを感じるまち

#### 新型コロナウイルス感染症への対応

公共施設をはじめ、子どもの施設、福祉施設などに消毒用品や手袋、必要な備品を配備する。

#### 子育て環境の整備

待機児童ゼロを維持できるよう、引き続き保育園を整備する他、診療所併設の保育室などで病児・病後児保育を行う。

#### 多様性社会の推進

パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の周知、普及を進める。

#### 高齢者・障がい者などへの支援

ごみを集積所まで運ぶことが困難な方のために、ごみの収集に何うとともに生活状況を確認する。

### 彩り豊かな文化と芸術を育むまち

#### 文化芸術活動の振興

市の収蔵作品をデジタル化し、オンライン配信を行うことで芸術をより身近なものとする。

#### 国際連携の推進

姉妹都市やパートナーシティなどとの交流を通じて、さまざまな国の文化や慣習に触れ、相互理解を深めることで多文化共生社会につなげていく。

### 安全で快適な魅力あるまち

#### 防災力の向上

自然災害への備えとして、避難所へLEDバルーンライトやソーラー付き蓄電池の配備とマンホールトイレを整備する。

#### 治水対策の推進

浸水被害を軽減できるよう幹線排水路やポンプの排水能力を高めるとともに、老朽化した水防倉庫を建て替える。

#### 地域コミュニティゾーンの整備

妙典地区に、公私連携型保育所・児童発達支援センター・少年野球場・公園など、子どもから大人まで誰もが楽しむことができる地域交流の拠点を整備する。

#### 八幡分庁舎の建て替え

市民の交流や教養を育む場、子育て支援や本と触れ合える場などの機能を備えた複合施設として整備する。

#### 商工業の活性化

魅力ある商店街づくりの支援や中小企業者への資金繰り支援などを行い、市内経済の発展を促進する。

### 人と自然が共生するまち

#### 脱炭素社会の構築

電気自動車の購入や太陽光発電設備の設置にかかる費用を助成し、エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの利用を進め「環境に責任をもつまち」を実現する。

#### 魅力ある公園の提供

じゅん菜池緑地の水質の悪化を防ぐため、新しい井戸を増設し、生物の生育環境を維持する。また魅力ある動植物園作りに向け、タカのショーの開催や屋内で動物と親しめるゾーンを開設する。

### 市民と行政がともに築くまち

#### デジタルトランスフォーメーションの推進

オンラインで申請できる手続きを増やし、申請の内容に応じて、マイナンバーカードによる公的個人認証機能やオンライン決済機能が利用できるように環境を整備する。

#### 地域コミュニティの活性化

集会所の整備に対する補助や自治会への加入促進のほか、自治会が行うイベントへの支援を継続する。

### 施政方針・教育行政運営方針とは

施政方針とは、新年度を迎えるにあたって、市長が向こう1年間の市政運営の基本方針や重要な施策を示すもので、例年市議会2月定例会の冒頭、予算案などの審議に先立って演説が行われます。教育委員会については、教育長が同様に教育行政運営方針を示します。

施政方針と教育行政運営方針の全文は、市公式Webサイトで公開しています。

教育行政運営方針全文



## 教育行政運営方針

- 教育振興基本計画の点検・評価結果を踏まえた施策の推進
- 教育を取り巻く状況の変化への対応

教育委員会は、誰もが社会の変化に対応し、乗り越え、未来を創造する力を高められるよう、子どもたちの学びの保障と生涯学習の機会の確保に努めてきました。新年度も、新しい時代の学びに求められる課題と向き合い、市川教育の推進のため、教育行政の運営に努めていきます。

### 生涯を通じた学び

#### 新たな学びと交流の場づくり

学習交流施設「市本」で新たな学びと交流につながる取り組みを進める。

#### “自分らしく輝くための学び”の機会の充実

オンライン講座と対面での講座で幅広く学びの機会を提供する。

### 学校における学び

#### 情報教育の推進

学習用端末や指導者用デジタル教科書の活用により、情報教育を一層推進する。

#### 小中一貫教育の推進

高谷中学校、信篤小学校、二俣小学校の3校を小中一貫型小学校・中学校「(通称)信篤三葉学園」とし、小中一貫教育をさらに推進する。

### 教育環境の整備

#### 安全・安心で質の高い教育環境の整備

須和田の丘支援学校の教室不足解消として校舎を増築するほか、宮田小学校に続いて、老朽化が進んでいる学校の建て替え準備を計画的に進める。

#### 放課後の子どもの居場所づくり

放課後子ども教室や放課後保育クラブを拡充する。

## 当初予算

令和4年度一般会計当初予算額は、前年度比で4.4%増の1,668億円となり、特別会計、公営企業会計と合わせた全会計では、4.8%増の2,667億2,600万円となっています。

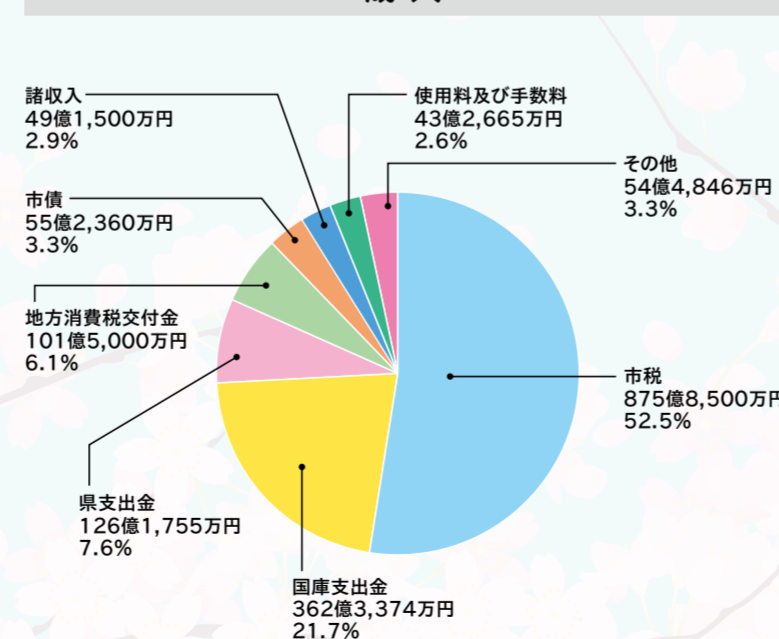
新年度は、令和4年3月に市長選挙を控えていたことから、政策的な判断を要する新規事業などの経費を除いた「骨格予算」としながらも、新型コロナウイルス感染症対策など、市民生活を守るための取り組みに加えて、これまで継続的に実施してきた事業についても着実に進めることで、市民サービスの維持と向上を図るための予算としています。 図 712-8595財政課

一般会計	1,668億円	(対前年度比 4.4%増)
特別会計	768億3,100万円	(対前年度比 2.7%増)
●国民健康保険特別会計	388億9,500万円	
●介護保険特別会計	316億9,000万円	
●後期高齢者医療特別会計	62億4,600万円	
公営企業会計	230億9,500万円	(対前年度比 16.4%増)
●下水道事業会計	230億9,500万円	
全会計	2,667億2,600万円	(対前年度比 4.8%増)

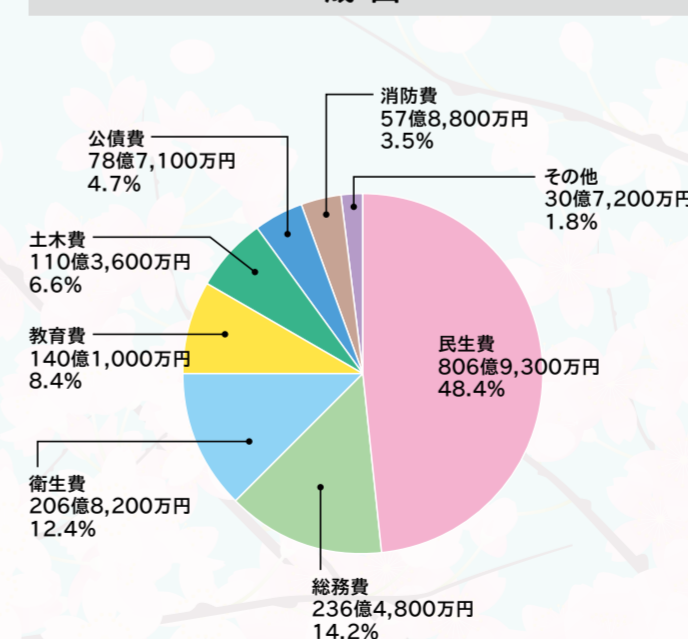
一般会計：福祉や道路、教育など市の基本的な事業を行うために設けられた会計  
特別会計：国民健康保険税などの特定の収入をもって特定の事業の費用に充てるために設けられた会計  
公営企業会計：地方公共団体が経営する公益的な事業を行うために設けられた会計

### 一般会計における歳入・歳出予算の内訳

#### 歳入



#### 歳出



### 市民1人あたり一般会計予算額 339,824円

●予算額を人口490,843人(令和3年12月末時点)で割って算出  
( )は市民1人あたりの予算額

#### 歳入

- 市税：市民税・固定資産税・都市計画税・市たばこ税など (178,438円)
- 国庫支出金・県支出金：市が行う事業への国や県からの補助など (99,525円)
- 地方消費税交付金：市町村分として県から交付されるお金 (20,679円)
- 市債：主に建設事業を行う時の銀行などからの借入金 (11,253円)
- 諸収入：延滞金、預金利息、貸付金元利収入、雑入など (10,014円)
- 使用料及び手数料：施設利用や特定のサービスにおける対価 (8,815円)
- その他：分担金及び負担金、地方譲与税、地方特例交付金、寄附金など (11,100円)

#### 歳出

- 民生費：高齢者・障がい者・児童の福祉など (164,397円)
- 総務費：文化振興、防災対策や情報化の推進など (48,178円)
- 衛生費：医療、保健、環境、ごみ処理など (42,136円)
- 教育費：学校や公民館、図書館の管理・運営など (28,543円)
- 土木費：道路、河川、公園の管理や整備など (22,484円)
- 公債費：借入金の返済 (16,036円)
- 消防費：消防、救急、救助や消防団の経費など (11,792円)
- その他：産業振興、観光推進、議会関連経費など (6,258円)